

■まぐろはえなわぎょぎょう せんもんきゅう がっかしけんもんだい こうひょうよう

1. () めばちまぐろは おおきい めが とくちょう である。
2. () きはだまぐろは まぐろの なかで もっとも ねだんが たかい。
3. () めかじきと まかじきには ふん(つの)が ついている。
4. () みくろねしあは まぐろの ぎょじょう である。
5. () とうなわするとき じどうとうなわきを つかわない ふねも ある。
6. () あげなわぎょぎょうでは、 らいんほーらーや さんぽうろーらーは つかわない。
7. () はえなわは あば(うき)、うけなわ(たてなわ)、みきなわ、えだなわ、つりばりの じゅんに つながっている。
8. () みきなわには やく 1m かんかくで えだなわを つける。
9. () ふかいところの さかなを つるときは えだなわの かんかくを せばめる。
10. () みきなわの ふかさを きめる なわを うけなわ(たてなわ)という。
11. () よるに はえなわを さがすための めじるし として らじおぶいを つけることがある。
12. () とうなわは おもて(せんしゅ)から おこなう。
13. () とうなわと あげなわの あいだの じかんを なわまち という。

14. () つりあげた かじきは つのを きるまえに えらや ないぞう
をとる。
15. () まぐろは せんどが おちづらいので ちを ぬく ひつようは
ない。
16. () つりあげた まぐろを しより するときに ぎよたいに きず
を つけないように きをつける。
17. () まぐろは れいぞう または れいとうして ほぞうする。
18. () にほんじんは まぐろを さしみや すしなど なまで たべる。